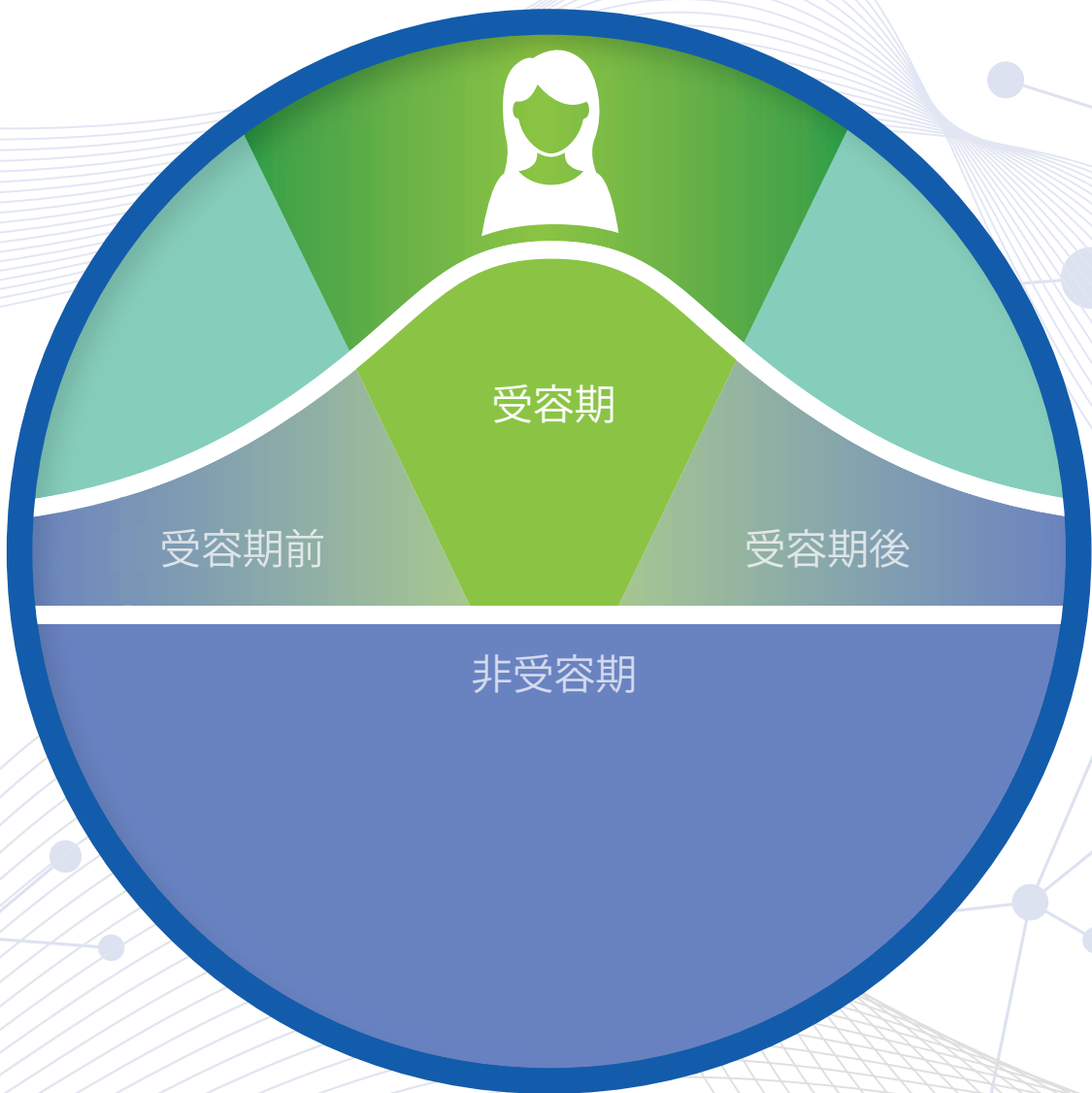


ERPeakSM

子宮内膜胚受容期検査

的確な胚移植のために



CooperSurgical[®]
Fertility Solutions

ERPeakSM

子宮内膜胚受容期検査



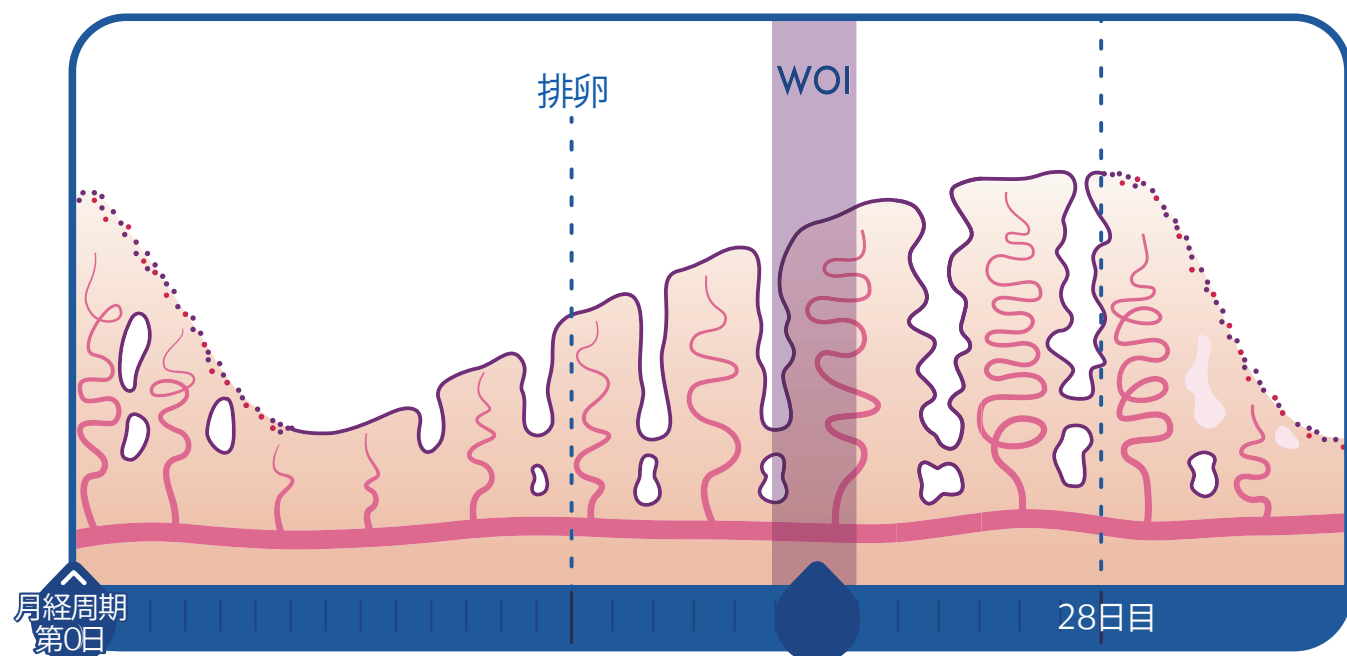
的確な胚移植のための検査

CooperGenomics が独自に開発し妥当性確認を行ったプラットフォーム¹を使用した、ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査 (ERPeakSM 検査) により、女性の子宮内膜の受容期について、正確かつ信頼性のある評価を行うことができる新しい検査です。

なぜ子宮内膜の受容期を調べるのでしょうか？

子宮内膜が胚の着床を受け入れられる状態(すなわち受容期)にある短い期間のことを、着床の窓 (WOI: Window of Implantation) といいます。通常この WOI に相当する期間は、生殖補助医療の治療周期ではプロゲステロン投与開始 (投与開始日が 0 日) から 5 日後です。反復着床不全 (RIF: Recurrent Implantation Failure)² が認められる女性の約 30% では、この WOI がプロゲステロン投与開始から 5 日後よりも前または後ろにずれていることがわかっています³。

着床の窓 (WOI)



検査の原理

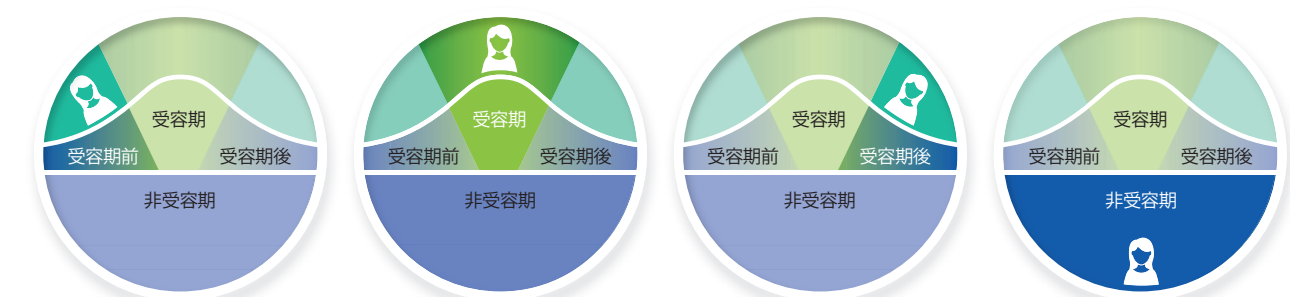
CooperGenomics の ERPeakSM 検査では、関連するホルモン応答遺伝子の発現量を調べることで患者様の WOI の時期を特定できます。これにより、担当医師は胚移植に最適な時期を知ることができ、妊娠成立を高める可能性があります。反復着床不全 (RIF) の患者様に現在臨床で利用可能な検査を行った場合の妊娠率は 51.7% ~ 63.2% と報告されています^{3,4}。

4つの簡単なステップ



結果が分かりやすい

ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査の結果は、受容期前、受容期、受容期後、非受容期のいずれかで報告いたします。検査結果が受容期前または受容期後の場合、CooperGenomics が推奨する移植時期を報告いたします。



ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査

ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査で分かる事

- ✓ 子宮内膜が胚を受け入れ可能な時期
- ✓ 推奨される移植時期*

*検査結果が受容期前または受容期後の場合のみ

サポートおよびガイダンス(医療機関向け)

検査結果や製品に関するご質問は、CooperGenomicsの専門家サポートチームが対応いたします。

詳しい情報をお知りになりたい場合は、

<https://coopersurgicalfertility-jp.com/>をご覧ください。

ERPeakSM 子宮内膜胚受容期検査に関してご質問がある場合は、

contact.genomics-jp@coopersurgical.comまで電子メールでお問い合わせください。

1. CooperGenomics, internal data on file
2. Katzorke N, et al. Geburtshilfe Frauenheilkd. 2016; 76: 699–703
3. Ruiz-Alonso M, et al. Fertil Steril. 2013;100:818–824
4. Tan J, et al. J Assist Reprod Genet. 2018;35:683–692

医療機関様向けのサイトはこちらから



©2024 CooperSurgical Japan K.K. All Rights Reserved.発行された時点での正確な情報を記載しています。
CooperGenomicsと提携するReprogenetics社、Recombine社、Genesis Genetics社、その他の臨床検査施設が検査を行います。

[注意] 本サービスは薬機法の定めるところの医薬品、医療機器等ではありません。

クーパーサージカル・ジャパン株式会社
〒231-0021
神奈川県横浜市中区日本大通11 横浜情報文化センター4F
Tel. 045-319-6754 Fax. 045-319-6581
E-mail: contact.genomics-jp@coopersurgical.com
<https://coopersurgicalfertility-jp.com/>



CooperSurgical[®]
Fertility Solutions